

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書は 16 型幼児車の押し棒についての補足説明書です。自転車全般のお取扱いについては、別冊の一般用自転車及び幼児用自転車・取扱説明書とあわせてお読みください。また、この説明書はいつでも取り出せる場所に大切に保管して、必要な時にお読みください。



下記内容を十分ご理解頂き、正しくご使用ください。誤った取り扱いは故障や不調の原因となる場合があります。重大な事故や傷害を負う危険があります。



押し棒を使用する際は、必ず突起の位置を確認し固定レバーで押し棒を固定してご使用ください。

✕ 誤った取扱い

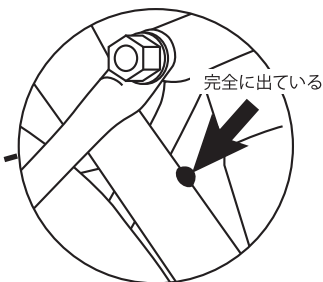
押し棒を逆で使用しないでください



押し棒

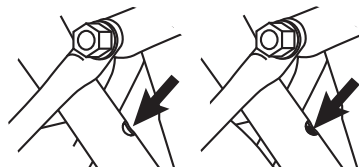
押し棒固定レバー

○ 正しい取扱い

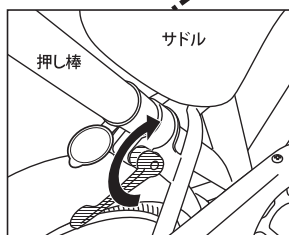


完全に出ている

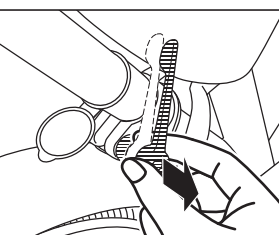
✕ 誤った取扱い



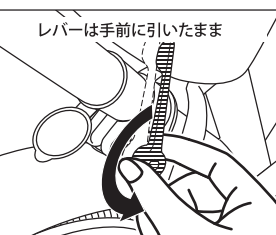
突起が出ていない、または完全に出ていない



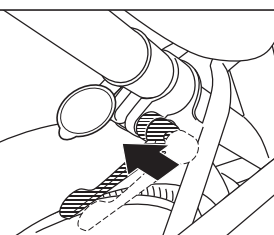
① 締める場合、レバーを時計回りに締めます。



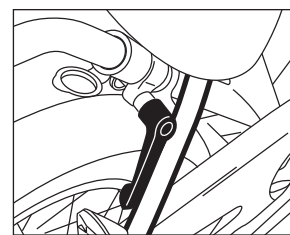
② レバーがぶつかって回転させられなくなったら、レバーの根元を手前に引きます。



③ レバーを引いたまま、反時計回りに回してレバー位置を戻します。



④ レバー位置が戻った所でレバーを離して①に戻ります。
緩める場合は①と③の回転方向を逆にすれば緩められます。



⑤ 作業が終了したら、②③のようにしてレバーをフレームに沿う位置にご使用ください。

✕ 誤った取扱い

レバーは根元以外を引かないでください。

注意!
このネジは工具などでゆるめないでください。



危険な操作

- ・押し棒を付けたまま、お子様が一人でのご使用されないようにしてください。
- ・押し棒で補助する際、急停止や急加速などの急激な操作、お子様の動きを阻害するような操作は危険ですので十分ご注意ください。
- ・乗車の補助をする前後方向以外の力（持ち上げる、押し下げる、寄りかかる、ひねる、倒すなどの横方向の力）を加えないでください。
- ・保護者がお子様を補助する以外の用途に使用しないでください。
- ・押し棒が磨耗、変形しているなどの状態で使用しないでください。
- ・地面やペダルに足がつかない、お子様自身で乗車姿勢を維持出来ない、ハンドルやブレーキなどの操作が出来ないなど、お子様が小さ過ぎると大変危険です。無理なご使用はお止めください。

お手入れと保管

- ・日常のお手入れは、乾いた布やブラシで泥、ほこりを落としてください。
- ・雨のかからない乾燥した場所で保管してください。
- ・外した押し棒は、お子様が触らないように保管してください。
- ・安全にご使用する為、乗車直前の日常点検及び定期点検を必ず実施してください。
- ・異常を感じたら、使用を直ちに中止し、ご購入店にご相談ください。
- ・補助が不要になったら押し棒は取り外してご使用ください。その場合、お子様が指を入れて遊ばないように必ずキャップを締めてご使用ください。